

2019年2月16日
日本介護クラフトユニオン（NCCU）
第19回中央委員会

会 長 あ い さ つ

会 長 久保 芳信

はじめに

日本介護クラフトユニオン第19回中央委員会にご参集いただきました中央委員の皆さん、大変お疲れ様です。また、日頃は総支部活動や分会活動など、それぞれの立場でNCCUの諸活動を支えていただいていることに感謝申し上げます。

昨年は自然災害が多い年でしたので、今年の年頭には災害が少ない年となるようお願いしました。しかし、新年早々に熊本で地震が二度も発生し、北海道、東北、信越地域では大雪による被害が出ています。移動手段の制約など、介護現場でのご苦労も多いのではないかと心配しています。また今年はインフルエンザが例年以上に猛威を振るっており、患者数が急増しているのみならず、死亡事故までも報道されています。組合員の皆さんにおいては、手洗い、マスク、うがいなど、予防には十二分に気をつけて健康を維持されるようお願いいたします。

平成最後の年がスタートしましたが、昨年末に表面化した厚生労働省の毎月勤労統計の問題は、賃金水準にも影響を及ぼす重要な事案であり、早急に是正されることを求めます。

今年の主な予定は、4月に統一地方選挙があり、改正出入国管理及び難民認定法の施行により外国人労働者に対し介護分野の門が開かれます。また働き方改革関連法改正による時間外労働の上限規制が導入されます。4月末には天皇陛下が退位されて、5月1日には新天皇が即位され新年号が始まります。6月大阪でG20の開催、7月参議院選挙、10月消費税率アップと目白押しです。国外では北朝鮮による拉致問題や北方領土返還問題など様々な課題が山積しています。この2019年が少しでも好転することを願うばかりです。

それでは、第19回中央委員会開会にあたり、今期これまでの活動経過とこれからの取り組みについて4点述べます。

組織の拡大と強化

まず1点目は、「組織の拡大と強化」についてです。現在、「仲間づくり10万人体制の達成」に向けて組織部門を中心に精力的な仲間づくりを進めています。直近の組織現勢では8万名を突破して、10万名に近づいています。「数は力なり」と言うように、NCCUに集う

仲間を増やすことは、国や行政、経営者などに対して発言力をもつこととなります。引き続き組織拡大への取組は強力に進めていきたいと考えています。

組織の拡大とならぶ重要課題は組織の強化であり、総支部・支部・分会がお互いの協力体制を築く必要があります。今年度の活動方針にありますように、全国組織としてのメリットを生かし、連帯強化策として全国の支部役員や分会役員を対象にセミナーを開催し、連帯感の醸成を図ります。役員同士が全国規模で切磋琢磨し、NCCU運動を盛り上げていただけることと思います。そして、NCCUが組合員の皆さんにとって必要な存在となり、働きやすい職場環境を実現すべく、総支部・支部・分会と本部がより一層の連携を図りながら進めていかなければなりません。

ご利用者・ご家族からのハラスメント防止に向けて

2点目は、昨年実施した「ご利用者・ご家族からのハラスメント」に関するアンケートについてです。組合員の皆さんの協力により得られたこのアンケート結果は、介護現場の問題を浮き彫りにした大変貴重なものでした。それをもとにNCCUが厚生労働省へ要請書を提出した結果、直ちに委員会を立ち上げて現状把握を行うとの回答をいただき、事業者向けのマニュアル作成が現在進行しているところです。また、NCCUが公表した結果から、数多くのマスメディアで、介護現場におけるご利用者・ご家族からのハラスメントについての現状を報道していただき、社会問題としても提起されたと考えています。また、各種団体の会議体などで基調講演を行い現状報告と問題共有をさせていただいているところです。さらに労使の取り組みとして、多くの法人の間で集団協定書の締結を進めています。このような取り組みによって介護現場の環境が少しでも良くなることを期待するところです。

春季労働条件交渉

3点目は春季労働条件交渉について述べたいと思います。年が明けて早いもので2月も半ばとなり、賃金をはじめとする労働条件交渉の時期が来ました。

介護従事者が現在の職場で長く働き続けられるようになるためには、賃金を始めとする労働条件の向上が不可欠です。2016年度の全産業平均とNCCUの平均賃金の差は約86,000円でしたが、全産業平均賃金の停滞とNCCUの平均賃金の上昇により2017年度は約63,000円に縮まりました。しかし、この格差を更に縮めるため「格差是正」を進めなければなりません。また、昨年12月厚生労働省発表の有効求人倍率は、全産業平均が1.63倍なのに対し、介護サービスでは4.47倍と高水準の状況です。介護の仕事をいつまでも続けられる賃金水準となるよう、また人材不足という観点からも全産業平均に近づけなければなりません。NCCU全体の統一要求である格差是正の必要性を確認し、NCCU一丸となって推し進めていきましょう。

政治活動

4点目に、政治活動について触れたいと思います。

介護従事者の労働環境に直結する介護保険制度をはじめ、日々の暮らしや人生設計に関わる社会保障制度や税制は、政治と深く結びついています。4月には統一地方選挙が行われます。地方議員の活動は、地方行政を動かす大変重要な役割を持っており、また、国をも動かす力を持っています。地方議員の活躍の一例を上げますと、東京都の区議会議員が介護人材の処遇改善に向けた提案を区議会で行い、その結果、「介護職等の処遇改善及び確保支援」を採択の上、議員総意として国へ上申していただきました。地方議会についても私たちの活動内容を理解していただける地方議員を一人でも多く作っていかなくてはなりません。

7月には参議院議員選挙が行われる予定です。現在、私たちの代表として国会で活躍していただいている組織内国会議員は、参議院の川合孝典参議院議員一人だけです。私たち働く者の立場で発言する議員をさらに増やさなければ、私たちの声はかき消されてしまいます。NCCUは『田村まみ』氏と介護従事者の処遇改善に取り組む旨の政策協定を結んでいます。私たちが安心して働ける職場、処遇改善を実現するためには、何としても私たちの代表である『田村まみ』氏を国会に送り出さなければなりません。組合員の皆さんのより一層のご理解とご支援をお願いいたします。

最後に、NCCU運動の基本は職場での組合活動です。本部、総支部、支部、分会の活動が組合員の皆さん一人ひとりにとって必要不可欠なものとなるよう、これからもNCCU運動を展開していくことをお約束して第19回中央委員会冒頭の挨拶とします。

組合員の幸せのため、共に頑張っていきましょう。

以上